

2011年8月5日  
富士生命保険株式会社

## 平成23年度第1四半期業績のお知らせ

富士生命保険株式会社（代表取締役会長兼CEO 戸國 靖器）の平成23年度第1四半期の業績をお知らせいたします。

なお、金額は記載単位未満の端数を切り捨てており、諸比率は四捨五入によって表示しています。

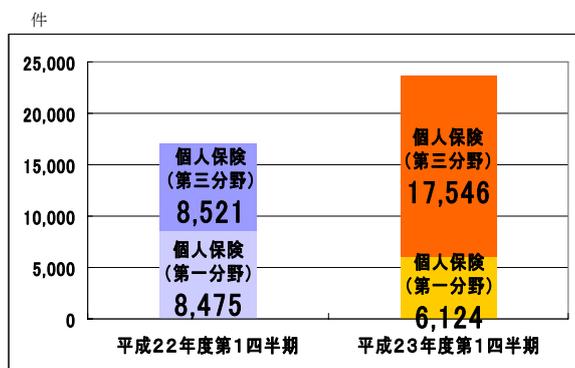
### 決算のトピックス

#### 1. 新契約件数

新契約件数は、個人年金保険を除くベースで16,996件から23,670件へ39.3%増加しました。

23,670件の内訳第三分野17,546件  
第一分野 6,124件

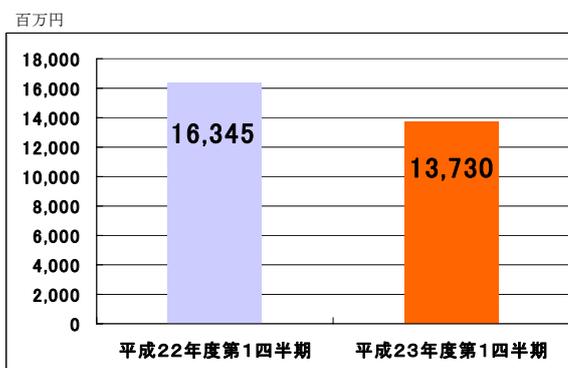
<新契約件数>



#### 2. 保険料等収入

保険料等収入は前納保険料の大幅な減少により13,730百万円、前年度比16.0%の減少となりました。なお、前納保険料を除いたベースでは、昨年度発売したがん保険の販売が好調に推移したこと等により7.8%の増加となっています。

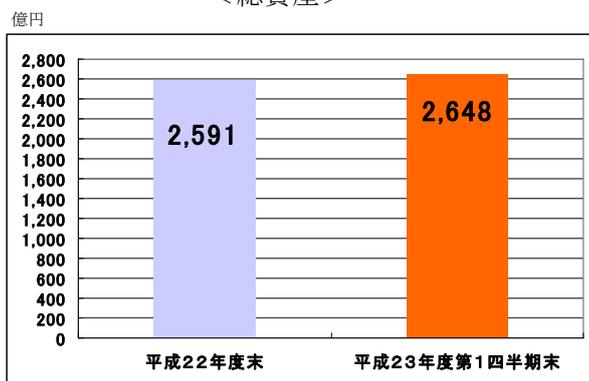
<保険料等収入>



#### 3. 総資産

総資産は264,852百万円、前年度末比2.2%増加しました。

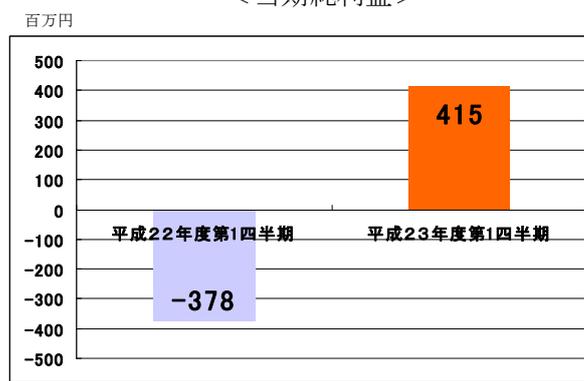
<総資産>



#### 4. 当期純利益

保険関係損益の改善により、793百万円改善し、415百万円となりました。

<当期純利益>



#### 5. ソルベンシー・マージン比率

保険金等の支払能力の充実の状況を示すソルベンシー・マージン比率は2,443.5%と前年度末から143.7ポイント改善しています。

(参考) 新基準によるソルベンシー・マージン比率は、1,169.5%です。

平成23年8月5日  
富士生命保険株式会社

## 平成23年度第1四半期報告

富士生命保険株式会社（代表取締役会長兼CEO 戸國靖器）の平成23年度第1四半期の業績は添付のとおりです。

※ 資料中、「第1四半期累計期間」は「4月1日～6月30日」を、「第1四半期会計期間」は「4月1日～6月30日」を表しております。

### <目次>

1. 主要業績	……1頁
2. 資産運用の実績（一般勘定）	……3頁
3. 四半期貸借対照表	……5頁
4. 四半期損益計算書	……6頁
5. 経常利益等の明細（基礎利益）	……8頁
6. ソルベンシー・マージン比率	……9頁
7. 特別勘定の状況	……11頁
8. 保険会社及びその子会社等の状況	……11頁

以上

## 1. 主要業績

### (1) 保有契約高及び新契約高

#### ・保有契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	平成23年度 第1四半期会計期間末				平成22年度末	
	件 数	金 額		件 数	金 額	
		前年度 末比	前年度 末比			
個人保険	344	105.6	18,114	101.3	326	17,878
個人年金保険	10	99.1	521	98.7	10	529
団体保険	—	—	4,858	95.9	—	5,067
団体年金保険	—	—	—	—	—	—

(注) 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

#### ・新契約高

(単位：千件、億円、%)

区分	平成22年度 第1四半期累計期間				平成23年度 第1四半期累計期間					
	件 数	金 額			件 数	金 額				
		新契約	転換による 純増加	前年 同期比		前年 同期比	新契約	転換による 純増加		
個人保険	16	784	784	—	23	139.3	601	76.6	601	—
個人年金保険	0	25	25	—	—	—	—	—	—	—
団体保険	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—
団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 件数は、新契約に転換後契約を加えた数値です。  
2. 新契約・転換による純増加の個人年金保険の金額は年金支払開始時における年金原資です。

## (2) 年換算保険料

### ・保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	平成23年度 第1四半期 会計期間末		平成22年度末
		前年度 末比	
個 人 保 険	38,158	102.7	37,160
個 人 年 金 保 険	3,493	99.0	3,529
合 計	41,651	102.4	40,689
うち医療保障・ 生前給付保障等	9,766	109.5	8,921

### ・新契約

(単位：百万円、%)

区 分	平成22年度 第1四半期累計期間	平成23年度 第1四半期累計期間	前年 同期比
	個 人 保 険	1,755	1,792
個 人 年 金 保 険	174	—	—
合 計	1,929	1,792	92.9
うち医療保障・ 生前給付保障等	537	1,028	191.1

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です（一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額）。
2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付（入院給付、手術給付等）、生前給付保障給付（特定疾病給付、介護給付等）、保険料払込免除給付（障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む）等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

## 2. 資産運用の実績（一般勘定）

### （1）資産の構成

（単位：百万円、％）

区 分	平成23年度 第1四半期会計期間末		平成22年度末	
	金 額	占 率	金 額	占 率
現預金・コールローン	5,015	1.9	8,519	3.3
買現先勘定	—	—	—	—
債券貸借取引支払保証金	—	—	—	—
買入金銭債権	—	—	—	—
商品有価証券	—	—	—	—
金銭の信託	—	—	—	—
有 価 証 券	244,222	92.2	234,541	90.5
公 社 債	238,137	89.9	228,982	88.4
株 式	4,008	1.5	4,251	1.6
外 国 証 券	—	—	—	—
公 社 債	—	—	—	—
株 式 等	—	—	—	—
そ の 他 の 証 券	2,077	0.8	1,306	0.5
貸付金	10,353	3.9	10,704	4.1
不動産	22	0.0	24	0.0
繰延税金資産	—	—	—	—
そ の 他	5,238	2.0	5,330	2.1
貸倒引当金	▲0	▲0.0	▲0	▲0.0
合 計	264,852	100.0	259,119	100.0
うち外貨建資産	—	—	—	—

（注）「不動産」については土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を計上しております。

(2) 有価証券の時価情報（売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの）

(単位：百万円)

区 分	平成23年度 第1四半期会計期間末					平成22年度末				
	帳簿価額	時 価	差 損 益			帳簿価額	時 価	差 損 益		
			差益	差損	差益			差損		
満期保有目的の債券	136,048	142,676	6,628	6,793	165	132,001	135,735	3,733	4,482	749
責任準備金対応債券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
子会社・関連会社株式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他有価証券	105,103	108,028	2,925	3,935	1,009	100,437	102,394	1,956	3,080	1,123
公 社 債	99,377	102,088	2,710	3,399	688	95,523	96,980	1,456	2,423	966
株 式	3,514	3,863	349	526	177	3,550	4,106	556	643	86
外 国 証 券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公 社 債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
株 式 等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の証券	2,211	2,077	▲134	10	144	1,363	1,306	▲56	13	70
買入金銭債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
譲渡性預金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	241,151	250,705	9,553	10,729	1,175	232,439	238,129	5,690	7,563	1,873
公 社 債	235,426	244,765	9,338	10,192	853	227,525	232,716	5,190	6,906	1,716
株 式	3,514	3,863	349	526	177	3,550	4,106	556	643	86
外 国 証 券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公 社 債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
株 式 等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の証券	2,211	2,077	▲134	10	144	1,363	1,306	▲56	13	70
買入金銭債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
譲渡性預金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 1. 本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

2. 「金銭の信託」については該当ありません。

・時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の帳簿価額は以下のとおりです。

(単位：百万円)

区 分	平成23年度 第1四半期会計期間末	平成22年度末
満期保有目的の債券	-	-
非上場外国債券	-	-
そ の 他	-	-
責任準備金対応債券	-	-
子会社・関連会社株式	-	-
その他有価証券	144	144
非上場国内株式 (店頭売買株式を除く)	144	144
非上場外国株式 (店頭売買株式を除く)	-	-
非上場外国債券	-	-
その他	-	-
合 計	144	144

(3) 金銭の信託の時価情報

該当ありません。

### 3. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	平成23年度 第1四半期会計期間末 (平成23年6月30日現在)		平成22年度末 要約貸借対照表 (平成23年3月31日現在)	
		金 額		金 額	
(資産の部)					
現金及び預貯金			3,015		6,519
有価証券			2,000		2,000
うち国債		(	244,222	(	234,541
うち地方債		(	227,163	(	217,285
うち社債		(	1,340	(	1,342
うち株式		(	9,632	(	10,355
貸付金		(	4,008	(	4,251
貸付金			10,353		10,704
貸付金			10,351		10,701
貸付金			2		3
有形固定資産			44		47
無形固定資産			315		342
再評価損			0		11
再評価益			30		304
その他引当金			4,869		4,649
資産の部合計			▲ 0		▲ 0
(負債の部)			264,852		259,119
保険契約準備金			253,767		248,788
支責任準備金			2,243		3,096
契約者配当準備金			250,951		245,141
代理店借入金			572		550
再評価損			610		608
再評価益			178		210
その他負債等			489		1,099
未払法人税等			4		4
未払の他の負債等			17		17
退職給付引当金			467		1,077
役員退職慰労引当金			9		8
繰延税金負債			0		4
繰延税金負債			324		310
負債の部合計			1,047		691
(純資産の部)			256,426		251,721
資本金			10,000		10,000
利益剰余金			▲ 3,452		▲ 3,867
その他利益剰余金			▲ 3,452		▲ 3,867
繰越利益剰余金			▲ 3,452		▲ 3,867
株主資本合計			6,547		6,132
その他の有価証券評価差額金			1,878		1,265
評価・換算差額等合計			1,878		1,265
純資産の部合計			8,426		7,398
負債及び純資産の部合計			264,852		259,119

#### 4. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	平成22年度	平成23年度
		第1四半期累計期間 〔平成22年4月1日から 平成22年6月30日まで〕	第1四半期累計期間 〔平成23年4月1日から 平成23年6月30日まで〕
		金 額	金 額
経 常 収 益		17,867	15,847
保 険 料 等 収 入		16,345	13,730
(うち保険料)	(	16,284)	( 13,684)
資 産 運 用 収 益		1,006	1,236
(うち利息及び配当金等収入)	(	979)	( 1,201)
(うち有価証券売却益)	(	27)	( 34)
そ の 他 経 常 収 益		515	880
(うち支払備金戻入額)	(	312)	( 853)
経 常 費 用		18,257	15,323
保 険 金 等 支 払 金		5,058	6,559
(うち保険金)	(	1,432)	( 2,804)
(うち年金)	(	178)	( 101)
(うち給付金)	(	415)	( 406)
(うち解約返戻金)	(	2,748)	( 2,820)
(うちその他返戻金)	(	79)	( 105)
責 任 準 備 金 等 繰 入 額		10,387	5,809
責 任 準 備 金 繰 入 額		10,387	5,809
契 約 者 配 当 金 積 立 利 息 繰 入 額		0	0
資 産 運 用 費 用		15	71
(うち支払利息)	(	0)	( 0)
(うち有価証券売却損)	(	1)	( 34)
(うち有価証券評価損)	(	11)	( 36)
事 業 費		2,608	2,717
そ の 他 経 常 費 用		188	164
経常利益又は経常損失(▲)		▲ 390	524
特 別 利 益		0	—
そ の 他 特 別 利 益		0	—
特 別 損 失		17	14
固 定 資 産 等 処 分 損		0	0
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額		10	13
そ の 他 特 別 損 失		6	—
契 約 者 配 当 準 備 金 繰 入 額		138	92
税 引 前 四 半 期 純 利 益		▲ 545	417
又 是 税 引 前 四 半 期 純 損 失 (▲)			
法 人 税 及 び 住 民 税		3	1
法 人 税 等 調 整 額	▲	171	—
法 人 税 等 合 計	▲	167	1
四 半 期 純 利 益	▲	378	415
又 是 四 半 期 純 損 失 (▲)			

## 注記事項

(四半期貸借対照表関係)

平成23年度第1四半期会計期間末

1. 簡便的な会計処理  
繰延税金資産の回収可能性の判断については、一時差異の発生状況について前年度末から大幅な変動がないと認められるため、同年度末の検討において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングの結果を適用しております。
2. 契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであります。

イ. 当期首残高	550 百万円
ロ. 当第1四半期累計期間契約者配当金支払額	70 百万円
ハ. 利息による増加等	0 百万円
ニ. 契約者配当準備金繰入額	92 百万円
ホ. 当第1四半期会計期間末現在高	572 百万円
3. 金額は、記載単位未満を切り捨てて表示しております。

## 注記事項

(四半期損益計算書関係)

平成23年度第1四半期累計期間

1. 1株当たり四半期純利益の金額は2,076円06銭であります。なお、潜在株式はありません。
2. 金額は、記載単位未満を切り捨てて表示しております。

## 5. 経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

	平成22年度 第1四半期累計期間	平成23年度 第1四半期累計期間
基礎利益 A	▲286	601
キャピタル収益	27	34
金銭の信託運用益	—	—
売買目的有価証券運用益	—	—
有価証券売却益	27	34
金融派生商品収益	—	—
為替差益	—	—
その他キャピタル収益	—	—
キャピタル費用	13	70
金銭の信託運用損	—	—
売買目的有価証券運用損	—	—
有価証券売却損	1	34
有価証券評価損	11	36
金融派生商品費用	—	—
為替差損	0	—
その他キャピタル費用	—	—
キャピタル損益 B	14	▲35
キャピタル損益含み基礎利益 A + B	▲272	565
臨時収益	—	—
再保険収入	—	—
危険準備金戻入額	—	—
個別貸倒引当金戻入額	—	—
その他臨時収益	—	—
臨時費用	117	40
再保険料	—	—
危険準備金繰入額	117	40
個別貸倒引当金繰入額	—	—
特定海外債権引当勘定繰入額	—	—
貸付金償却	—	—
その他臨時費用	—	—
臨時損益 C	▲117	▲40
経常利益 A + B + C	▲390	524

## 6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項目	平成23年度 第1四半期 会計期間末	平成22年度末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	27,353	25,508
資本金等	6,446	6,132
価格変動準備金	324	310
危険準備金	2,070	2,030
一般貸倒引当金	-	-
その他有価証券の評価差額×90% (マイナスの場合100%)	2,633	1,761
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	15,874	15,266
負債性資本調達手段等	-	-
控除項目	-	-
その他	4	6
リスクの合計額		
$\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	2,238	2,218
保険リスク相当額 R1	1,227	1,229
第三分野保険の保険リスク相当額 R8	421	417
予定利率リスク相当額 R2	101	100
資産運用リスク相当額 R3	1,275	1,247
経営管理リスク相当額 R4	90	89
最低保証リスク相当額 R7	-	-
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	2,443.5%	2,299.8%

(注) 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条、第161条、第162条及び第190条、平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

## (参考) 新基準によるソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項 目	平成23年度 第1四半期 会計期間末	平成22年度末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	20,312	18,707
資本金等	6,446	6,132
価格変動準備金	324	310
危険準備金	2,070	2,030
一般貸倒引当金	-	-
その他有価証券の評価差額×90% (マイナスの場合100%)	2,633	1,761
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	15,874	15,266
負債性資本調達手段等	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	▲7,034	▲6,793
控除項目	-	-
その他	▲2	-
リスクの合計額		
$\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	3,473	3,383
保険リスク相当額 R1	1,227	1,229
第三分野保険の保険リスク相当額 R8	421	417
予定利率リスク相当額 R2	389	386
資産運用リスク相当額 R3	2,511	2,414
経営管理リスク相当額 R4	136	133
最低保証リスク相当額 R7	-	-
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,169.5%	1,105.8%

(注) 平成22年内閣府令第23号、平成22年金融庁告示第48号により、ソルベンシー・マージン総額及びリスクの合計額の算出基準について一部変更(マージン算入の厳格化、リスク計測の厳格化・精緻化等)がなされております。当該変更は平成23年度末から適用されます。上記は、仮に当該変更を平成22年度末及び平成23年度第1四半期会計期間末に適用したと仮定した場合の数値です。

## (参考) 実質資産負債差額

(単位：百万円)

項目	平成23年度 第1四半期 会計期間末	平成22年度末
資産の部に計上されるべき金額の合計額 (1)	271,480	262,852
負債の部に計上されるべき金額の合計額を基礎として計算した金額 (2)	237,109	233,422
実質資産負債差額A (1) - (2) = (3)	34,371	29,430
満期保有目的の債券・責任準備金対応債券の含み損益 (4)	6,628	3,733
実質資産負債差額B (3) - (4)	27,743	25,697

- (注) 1. 「実質資産負債差額A」は、実質資産負債差額の算出方法を定めた保険業法第132条第2項に規定する区分等を定める命令第3条および平成11年金融監督庁・大蔵省告示第2号の規定に基づき算出しています。
2. 「実質資産負債差額B」は、「実質資産負債差額A」から満期保有目的の債券および責任準備金対応債券の時価評価額と帳簿価額の差額を控除したものであり、上記1.の規定に加え保険会社向けの総合的な監督指針Ⅱ-2-2-6に基づき算出しています。
- なお、満期保有目的の債券および責任準備金対応債券の残高は4ページに記載しています。

## 7. 特別勘定の状況

該当ありません。

## 8. 保険会社及びその子会社等の状況

該当ありません。

## (参考) 証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況

1. 特別目的事業体 (SPEs) 一般  
該当ありません。
2. 債務担保証券 (CDO)  
該当ありません。
3. その他のサブプライム・Alt-Aエクスポージャー  
該当ありません。
4. 商業用不動産担保証券 (CMBS)  
該当ありません。
5. レバレッジド・ファイナンス  
該当ありません。